

第53期

事業計画書
収支予算書

(令和7年10月1日より
令和8年9月30日まで)

東京都目黒区五本木1-12-16

公益財団法人 北野生涯教育振興会

目 次

1. 事業計画書	1
2. 収支予算書	6
3. 収支予算書内訳表	8

第53期事業計画書

「生涯教育の振興を図るための事業を行い、もって健康で豊かな知識と情操を有する人材の育成に資することを目的とする」ために、第53期の事業計画を以下に記します。

公1. 生涯教育助成事業

生涯教育の振興を図るために、広く生涯教育に関係する事業を行う機関・研究等に対して助成を行い、その成果を通して豊かな人間性を涵養することを目的としています。

(1) 研究助成事業

生涯教育の観点から調査・研究をしている方々を応援し、その研究成果を社会に還元することで多くの方々が豊かな人生を送ることができるようになることを目的として調査・研究費用の一部を助成します。昨今の物価、人件費の上昇等の社会環境の変化を考慮し、助成金額の増額を検討します。

定 員 10名程度

(2) 教育機関等に対する図書寄贈

図書は、豊かな人間形成の糧となるものです。読書離れが進む中、小・中学生の頃より図書に親しんで学ぶ楽しみを体得してもらいたいとの思いから、ご要望をいただいた全国の小・中学校へ図書を寄贈します。また、毎年発行している「私の生涯教育実践シリーズ」を全国の図書館等に寄贈します。

(3) 途上国支援

世界には教育を受けたくてもその施設すらないところが多くあります。これらの人々に教育の機会を与えるための環境整備を行っている公益法人等へ助成を行う事業で、引き続きフィリピンのミンダナオにおいて保育所の教育環境の整備等を実施します。

(4) アーティスト派遣

プロのアーティストをホームページなどからご要望のあった学校の市町村、自治体の教育委員会を通じて派遣し、プロの音楽家の歌やピアニストの演奏を間近で聴くこと、ならびにメディアアーティストによるアニメーションや映像の原理を楽しみながら学ぶことにより STEAM 教育の一助となる体験学習を提供、豊かな人生を歩むための基礎作りを行う事業です。

(5) (公財)目黒区芸術文化振興財団 参加プログラムへの助成

目黒区芸術文化振興財団等が行っている事業に賛同し、参加プログラム、美術セミナー、ワークショップ(演劇・ダンス)、音楽家の派遣等に協賛し、その費用を助成し、地域の生涯教育の振興を図ります。

(7) その他

当財団へ生涯教育に関する助成の申し込みがあった場合には、事務局で検討し、財団の趣旨に合ったものであれば予算内で助成します。

公2. 生涯教育学習者奨学助成事業

生涯学習を実践する者に対し、奨学金を給付し、勉学を経済的、精神的に支援することにより、心身の健全な発展と豊かな人間性を涵養し、よりよい社会の形成に寄与することを目的としています。

(1) 科目等履修生奨学金

社会に出てからも学ぶ意欲のある方を応援するために、大学および大学院で科目等履修生として1年間の受講（前期・後期を通して4単位以上）をしている方を対象に奨学助成します。ただし、正規の学生や過去において当財団の奨学生となった方は対象外としています。

定 員 15名程度

(2) 放送大学奨学金

社会に出てからも学ぶ意欲のある方を応援するために、放送大学で学んでいる年齢28歳以上の方または会社・官公庁等において実務経験3年以上を有する方を対象とした奨学金助成事業です。

① 選科履修生奨学金

いつでも、だれでも、自由な学び方ができる放送大学の選科履修生制度を活用して学ぶ方を対象として奨学助成します。

定 員 15名程度

② 大学院修士全科生奨学金

いつでも、だれでも、自由な学び方ができる放送大学大学院の修士全科生として学ぶ方を対象として奨学助成します。

定 員 10名程度

(3) 彫刻奨学生奨学金

大学の芸術学部等（第53期は、日本大学、多摩美術大学、女子美術大学の3校が対象校）において彫刻の研究・学習を行っている学生または研究生を対象として奨学助成します。なお、奨学生の作品は、山梨県笛吹市境川町「藤壘の滝大窪いやしの杜公園」に永久展示します。第53期は財団設立50周年を記念し、12月に目黒区美術館にある目黒区民ギャラリーにおいて、「彫刻奨学生の現在展（仮称）」を開催します。

定 員 5名

(4) 海外奨学金（外国人奨学生奨学金）

海外各国の貧困度と成績を指標にして、大学・高校で既に学んでいる学生を対象に選考しています。従前行っておりました中国への奨学金は同国の経済が世界トップレベルであることを鑑み、第52期、広東工業大学、天津大学、天津南海大学への助成を発展的に終了しました。ベトナムの国立ハノイ農業大学、経営管理大学、ハノイ工科大学、ズンサ高校、フィリピンのNPO ミンダナオ子ども図書館（MCL）のスカラシップ（大学）、インドネシアポリネス大学への助成はこれまで通り行うとともに、奨学金の助成先拡充を図ります。

定員	102名	〔	ベトナムの3大学	45名
			ベトナムの高校	25名
			フィリピンの大学	12名
			インドネシア	20名

(5) 音楽奨学生奨学金

音楽家を目指す学生に2年間、奨学金を助成します。第53期は、愛知県立芸術大学、東京音楽大学および東京藝術大学の3校を対象校とし助成します。

定員 9名

(6) ライフシフト奨学金

一度社会に出て働いている方々が生涯を通じて、必要な時に必要なことを学び、ライフシフトを容易にするための奨学金助成事業です。実務経験3年以上を有する方を対象として、大学2年次から大学院卒業までの最短年数を助成しています。大学、大学院修士課程さらには博士課程まで見据えて真剣に研究に取り組み、大学の研究力向上、研究者の質向上により、国際社会に貢献する有用な人材育成を行うことを目指しています。昨今の物価上昇、学費値上げ等の社会環境の変化を考慮し、第52期より奨学金を増額しました。

定員 20名程度

(7) 海外研修助成事業

①ホームステイ事業

日本におけるグローバル人材育成ニーズの高まりへの対応、ならびに自己成長を求めて海外での経験を希望する高校生へ、その機会の提供を目的として、第52期、新たにホームステイ事業を開始しました。単なる語学留学だけでなく、異文化体験、グローバル企業訪問でものづくりを見学するなどのプログラムは好評を博し、第53期も継続します。

定員 7名程度

②洋上研修「生産性の船」への派遣事業

公益財団法人日本生産性本部が主催する洋上研修の趣旨に賛同し、船上という非日常の中で人との交流を通じて議論し学んでいくことで人間形成に寄与できるものと考えております。コロナ禍以降は中断しておりますが、再開に向けた検討を開始します。

公3. 生涯教育講演会・研修会等の事業

より豊かな生きがいを求める方々に対し、「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶ機会を提供することにより、健康で豊かな知識と情操を有する人材の育成に寄与するとともに、生涯教育の啓蒙を目的としています。

(1) 講演会の開催

生涯教育の必要性と啓蒙を図るため、学識経験者や舞台芸術家等を講師として招き、向学心のある方々を対象とした講演会を行います。

気軽に日本の伝統文化に親しみ、その良さを再発見することができるような講演会や、新たな学びに通じる芸術や文化等に関する講演会を実施します。

開催回数 2回

(2) 研修会の開催

プラン作成から講師に参画いただき、講師の解説を現場で直接聴き学習できる機会を提供し、参加者の体験・体感を重視した研修会です。

① 美術研修

1) 美術鑑賞

毎回テーマを定めて、講師と共に美術館等を訪問し本物に触れ、鑑賞し学習することにより、心豊かな人間を涵養します。

研修回数 2回

② 伝承研修

時の流れの中で脈々と生きてきた、ふるきよきものや伝統・文化の残る場所を訪ねます。現場で体感することにより次世代に伝承すべきものを学びます。

研修回数 1回

③ 歴史研修

「城」や「城跡」をめぐり、講師の解説によりそこで何が起きていたかなど想像の世界を広げ、臨場感を体験、「城」を通して歴史や人の生きざまなど軌跡を学びます。

研修回数 2回

④ P L P ライフプランセミナー

100年生きる前提での人生設計が必要であると言われていています。マルチステージとリカレント教育の理解が重要になります。今後のライフプランを専門講師の指導のもとに学びます。対象年齢を50歳くらいから、年金支給年齢前までとし、1日コースを開催します。

研修回数 1回

⑤ 音楽研修

財団設立 50 周年を記念し、オペラ「ヤマタノオロチ」を上演予定、そのためにオーディションを経て特別に混声合唱団を結成し、2026 年 4 月 19 日の本番に向けてプロの声楽家、時には当該曲目の作者より直接指導を受けます。

結団式+研修回数 4 5 回+リハーサル+ゲネプロ+本番上演

(3) 論文募集

① 第 4 8 回論文募集「課題未定」

生涯教育の観点から、主に社会で問題となっていることをテーマに小論文・エッセーを募集します。12 月に課題を決定します。

入賞発表 2026 年 9 月下旬 ホームページに掲載

② 論文集の発刊 11 月

(4) 機関誌「生涯教育だより」発行

当財団で実施した講演会や研修会の概要や当財団で行う諸事業の予告・報告などを掲載しています。機関誌はお世話になっている方々など関係先に配付します。第 53 期は秋冬、春号、夏号を発刊します。なお、春号は財団創立 50 周年記念号として発行します。また、現講師となって巡った城・城跡をまとめた本「城めぐりのあゆみ(仮称)」を出版します。

【機関誌】

発行回数 3 回/期(秋冬号、春号、夏号)

発行部数 1, 000 部/回

【本】

題名 「城めぐりのあゆみ(仮称)」

発行部数 1, 000 部

収支予算書

令和 7年10月 1日から令和 8年 9月30日まで

公益財団法人 北野生涯教育振興会

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	250,982,000	169,138,000	81,844,000
基本財産受取利息	13,890,000	11,600,000	2,290,000
基本財産受取配当金	237,092,000	157,538,000	79,554,000
特定資産運用益	0	2,290,000	△ 2,290,000
特定資産受取利息	0	2,290,000	△ 2,290,000
受取会費	0	270,000	△ 270,000
賛助会員受取会費	0	270,000	△ 270,000
受取負担金	13,160,000	6,390,000	6,770,000
受取負担金	13,160,000	6,390,000	6,770,000
受取寄付金	20,000,000	10,000,000	10,000,000
受取寄附金振替額	0	10,000,000	△ 10,000,000
受取寄付金	20,000,000	0	20,000,000
固定資産受贈益	1,170,000	1,170,000	0
建物受贈益	1,170,000	1,170,000	0
雑収益	600,000	50,000	550,000
受取利息	600,000	50,000	550,000
経常収益計	285,912,000	189,308,000	96,604,000
(2) 経常費用			
事業費	234,378,000	179,052,000	55,326,000
役員報酬	14,560,000	9,000,000	5,560,000
給料手当	9,700,000	21,200,000	△ 11,500,000
通勤費	228,000	0	228,000
福利厚生費	5,860,000	60,000	5,800,000
会議費	6,610,000	5,410,000	1,200,000
旅費交通費	23,022,000	15,397,000	7,625,000
通信運搬費	829,000	759,000	70,000
減価償却費	4,836,000	2,280,000	2,556,000
消耗什器備品費	105,000	105,000	0
消耗品費	1,070,000	40,000	1,030,000
修繕費	7,000,000	700,000	6,300,000
図書文献費	590,000	80,000	510,000
印刷製本費	12,660,000	7,150,000	5,510,000
光熱水料費	560,000	560,000	0
賃借料	6,070,000	3,070,000	3,000,000
保険料	20,000	40,000	△ 20,000
諸謝金	3,964,000	3,614,000	350,000
支払負担金	100,000	9,100,000	△ 9,000,000
支払助成金	36,042,000	31,980,000	4,062,000
支払寄付金	50,000	230,000	△ 180,000
支払奨学金	58,364,000	51,074,000	7,290,000
委託費	40,935,000	13,850,000	27,085,000
渉外費	803,000	1,093,000	△ 290,000
雑費	400,000	2,260,000	△ 1,860,000

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
管理費	36,705,000	32,695,000	4,010,000
役員報酬	11,540,000	8,920,000	2,620,000
給料手当	4,100,000	9,120,000	△ 5,020,000
通勤費	90,000	0	90,000
役員退職繰入額	900,000	900,000	0
福利厚生費	3,762,000	1,262,000	2,500,000
会議費	2,160,000	2,160,000	0
旅費交通費	240,000	240,000	0
通信運搬費	516,000	516,000	0
減価償却費	1,680,000	860,000	820,000
消耗什器備品費	120,000	120,000	0
消耗品費	600,000	600,000	0
修繕費	3,000,000	300,000	2,700,000
図書文献費	48,000	48,000	0
印刷製本費	240,000	240,000	0
光熱水料費	240,000	240,000	0
賃借料	1,300,000	1,200,000	100,000
保険料	160,000	160,000	0
諸謝金	1,058,000	1,058,000	0
租税公課	171,000	171,000	0
支払負担金	100,000	100,000	0
諸会費	460,000	460,000	0
委託費	3,800,000	3,600,000	200,000
渉外費	180,000	180,000	0
雑費	240,000	240,000	0
経常費用計	271,083,000	211,747,000	59,336,000
評価損益等調整前当期経常増減額	14,829,000	△ 22,439,000	37,268,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	14,829,000	△ 22,439,000	37,268,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	14,829,000	△ 22,439,000	37,268,000
一般正味財産期首残高	2,037,601,996	2,060,040,996	0
一般正味財産期末残高	2,052,430,996	2,037,601,996	37,268,000
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	20,000,000	△ 20,000,000
受取寄付金	0	20,000,000	△ 20,000,000
一般正味財産への振替額	△ 1,170,000	△ 11,170,000	11,170,000
一般正味財産への振替額	0	△ 11,170,000	11,170,000
寄付金	0	△ 10,000,000	10,000,000
建物受贈益	△ 1,170,000	△ 1,170,000	1,170,000
当期指定正味財産増減額	△ 1,170,000	8,830,000	△ 8,830,000
指定正味財産期首残高	8,563,535,927	8,554,705,927	0
指定正味財産期末残高	8,562,365,927	8,563,535,927	△ 8,830,000
III 正味財産期末残高	10,614,796,923	10,601,137,923	28,438,000

収支予算書内訳表

令和 7年10月 1日から令和 8年 9月30日まで

公益財団法人 北野生涯教育振興会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計
	公1. 生涯教育 助成事業	公2. 生涯教育 学習者奨学事業	公3. 生涯教育 講演会・研修会・ その他事業	共通	小計	一般事業	
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	996,000	155,548,000	156,544,000	94,438,000	250,982,000
基本財産受取利息	0	0	0	13,890,000	13,890,000	0	13,890,000
基本財産受取配当金	0	0	996,000	141,658,000	142,654,000	94,438,000	237,092,000
受取負担金	0	0	13,160,000	0	13,160,000	0	13,160,000
受取負担金	0	0	13,160,000	0	13,160,000	0	13,160,000
受取寄付金	0	0	0	20,000,000	20,000,000	0	20,000,000
受取寄付金	0	0	0	20,000,000	20,000,000	0	20,000,000
固定資産受贈益	0	0	0	820,000	820,000	350,000	1,170,000
建物受贈益	0	0	0	820,000	820,000	350,000	1,170,000
雑収益	0	0	0	600,000	600,000	0	600,000
受取利息	0	0	0	600,000	600,000	0	600,000
経常収益計	0	0	14,156,000	176,968,000	191,124,000	94,788,000	285,912,000
(2) 経常費用							
事業費	41,242,000	83,338,000	61,102,000	48,696,000	234,378,000	0	234,378,000
役員報酬	0	0	0	14,560,000	14,560,000	0	14,560,000
給料手当	0	0	0	9,700,000	9,700,000	0	9,700,000
通勤費	0	0	0	228,000	228,000	0	228,000
福利厚生費	0	0	0	5,860,000	5,860,000	0	5,860,000
会議費	1,880,000	1,550,000	3,180,000	0	6,610,000	0	6,610,000
旅費交通費	2,285,000	3,935,000	16,802,000	0	23,022,000	0	23,022,000
通信運搬費	140,000	295,000	394,000	0	829,000	0	829,000
減価償却費	0	0	0	4,836,000	4,836,000	0	4,836,000
消耗什器備品費	0	105,000	0	0	105,000	0	105,000
消耗品費	10,000	0	60,000	1,000,000	1,070,000	0	1,070,000
修繕費	0	0	0	7,000,000	7,000,000	0	7,000,000
図書文献費	0	0	590,000	0	590,000	0	590,000
印刷製本費	1,750,000	500,000	10,410,000	0	12,660,000	0	12,660,000
光熱水料費	0	0	0	560,000	560,000	0	560,000
賃借料	0	900,000	2,170,000	3,000,000	6,070,000	0	6,070,000
保険料	0	20,000	0	0	20,000	0	20,000
諸謝金	660,000	656,000	2,648,000	0	3,964,000	0	3,964,000
支払負担金	0	0	0	100,000	100,000	0	100,000
支払助成金	33,692,000	1,000,000	1,350,000	0	36,042,000	0	36,042,000
支払寄付金	0	50,000	0	0	50,000	0	50,000
支払奨学金	0	58,364,000	0	0	58,364,000	0	58,364,000
委託費	425,000	15,560,000	23,098,000	1,852,000	40,935,000	0	40,935,000
渉外費	400,000	103,000	300,000	0	803,000	0	803,000
雑費	0	300,000	100,000	0	400,000	0	400,000
管理費	0	0	0	0	0	36,705,000	36,705,000
役員報酬	0	0	0	0	0	11,540,000	11,540,000
給料手当	0	0	0	0	0	4,100,000	4,100,000
通勤費	0	0	0	0	0	90,000	90,000
役員退職線入額	0	0	0	0	0	900,000	900,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	3,762,000	3,762,000
会議費	0	0	0	0	0	2,160,000	2,160,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	240,000	240,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	516,000	516,000
減価償却費	0	0	0	0	0	1,680,000	1,680,000
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	120,000	120,000
消耗品費	0	0	0	0	0	600,000	600,000
修繕費	0	0	0	0	0	3,000,000	3,000,000
図書文献費	0	0	0	0	0	48,000	48,000
印刷製本費	0	0	0	0	0	240,000	240,000
光熱水料費	0	0	0	0	0	240,000	240,000
賃借料	0	0	0	0	0	1,300,000	1,300,000
保険料	0	0	0	0	0	160,000	160,000
諸謝金	0	0	0	0	0	1,058,000	1,058,000
租税公課	0	0	0	0	0	171,000	171,000
支払負担金	0	0	0	0	0	100,000	100,000
諸会費	0	0	0	0	0	460,000	460,000
委託費	0	0	0	0	0	3,800,000	3,800,000
渉外費	0	0	0	0	0	180,000	180,000
雑費	0	0	0	0	0	240,000	240,000
経常費用計	41,242,000	83,338,000	61,102,000	48,696,000	234,378,000	36,705,000	271,083,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 41,242,000	△ 83,338,000	△ 46,946,000	128,272,000	△ 43,254,000	58,083,000	14,829,000
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 41,242,000	△ 83,338,000	△ 46,946,000	128,272,000	△ 43,254,000	58,083,000	14,829,000
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 41,242,000	△ 83,338,000	△ 46,946,000	128,272,000	△ 43,254,000	58,083,000	14,829,000
当期一般正味財産増減額	△ 41,242,000	△ 83,338,000	△ 46,946,000	128,272,000	△ 43,254,000	58,083,000	14,829,000
一般正味財産期首残高					1,497,680,126	539,921,870	2,037,601,996
一般正味財産期末残高					1,454,426,126	598,004,870	2,052,430,996
II 指定正味財産増減の部							
一般正味財産への振替額	0	0	0	△ 820,000	△ 820,000	△ 350,000	△ 1,170,000
一般正味財産への振替額	0	0	0	△ 820,000	△ 820,000	△ 350,000	△ 1,170,000
建物受贈益	0	0	0	△ 820,000	△ 820,000	△ 350,000	△ 1,170,000
当期指定正味財産増減額					△ 820,000	△ 350,000	△ 1,170,000
指定正味財産期首残高					6,159,345,512	2,404,190,415	8,563,535,927
指定正味財産期末残高					6,158,525,512	2,403,840,415	8,562,365,927
III 正味財産期末残高					7,612,951,638	3,001,845,285	10,614,796,923